

平成15年10月施行消防法改正事例

**防火対象物点検 天王寺消防署管内 1番 受付 焼肉 平和 様**



平成15年10月施行された、防火対象物点検について、対象となりました 『焼肉 平和』様が平成16年2月に防火対象物点検を弊社にて実施させていただき、このたび、大阪市天王寺消防署へ提出、管内で1番の受付となりました。また、日頃より防火意識の高い社長様が、消防法改正による自火報の設置についても、平成17年までの経過措置があるにも係らず、実施していただきました。

〔建物概要〕 地上4階建（3階までが客室） 延床面積 290 平方メートル 屋内階段1箇所

〔消防法改正該当部分〕

防火対象物点検⇒特定防火対象物で、3階以上もしくは地階に不特定多数の人が利用する用途があり、避難階に通ずる屋内階段が1箇所しかなく、屋外階段もなく、対象となった。

自動火災報知設備の設置⇒ 同上の理由 また、特定1階段等防火対象物となるために、階段部の煙感知器は高さ7.5mごとに1個設置しなければならない（通常高さ15mに1個）

〔実施状況とポイント〕

◎ 防火対象物点検 平成16年2月20日実施

- ①防火管理維持台帳に関係書類がまとめられていなかったのをまとめていただいた
- ②防火戸の前に荷物を置かれないよう注意シールを貼って従業員の方に認識を上げていただくようにした
- ③防火セフティーマークを取得し従業員への防火意識向上とお客様への安心を誓われた



◎ 自動火災報知設備設置 平成15年8月設置



階段部の煙感知器は、7.5mに1個設置（2階・4階に設置）



◎自主的な防災対策

避難誘導が確実に出来るよう、メガホン非常電灯を設置されている



**防火対象物点検 特例認定 大阪赤十字病院 様**

防火対象物点検について、対象となりました 大阪赤十字病院 様は、特例認定の申請をされ大阪市天王寺消防署の検査を受け、平成16年3月15日付けで特例認定を受けられました。収容人員約6,000人の大規模な病院として、院長を委員長とする防災対策委員会にて日頃より防災対策についてチェック・対策を検討され、各科・各病棟の看護師長が火元責任者（通常）・自衛消防地区隊長（緊急時）として防火管理を行う体制を整えられています。更に、年2回される大規模な訓練と日常の防火管理者並びに施設課の方々の防災巡回により防火管理のチェックをされています。弊社は、消防設備点検実施並びに防火管理方法についてのご助言などのお手伝いをさせていただいております。

〔ポイント〕

- ①各病棟で看護師長が中心となる防火管理体制で、訓練時にもその機能が確かめられている
- ②防火管理確認シートをもとに防災巡回され、問題箇所がないかチェックされている
- ③防火セフティーマークを掲示し患者様への安心と更なる防火管理の向上を誓われた

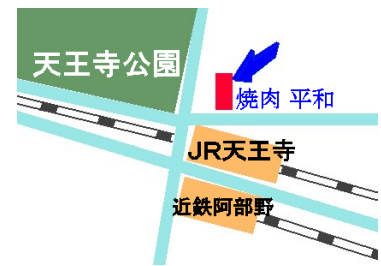


## 焼肉 平和 様 ご紹介



創業昭和 37 年の老舗焼肉店が、1 階カウンター席、2 階はテーブル席、3 階は座敷席。創業以来変わらぬ秘伝のタレで味わう焼肉はその日仕入れる上質の和牛のみを使い、すべて店で手切りしているので鮮度のよさはピカイチ。カツオ風味のタレも日本人の口に合うようあっさりしながらもコク深い味わいに。タン(¥700)やロース(¥1300)などの焼物 20 種(¥500～)、キモ造り(¥600)のほか、石焼ピピンバ(¥700)などご飯ものも人気です。

JR 天王寺駅北口横断歩道を渡ってところ。電話番号 06-6771-4890 日曜日は休日です



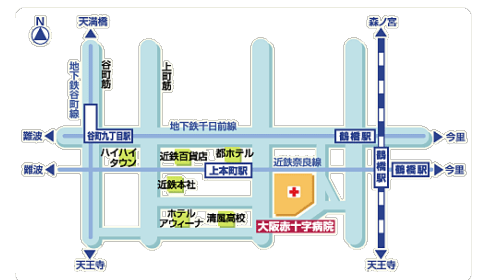
## 大阪赤十字病院 様 ご紹介



大阪赤十字病院は日本赤十字社大阪支部病院として、博愛の精神に基づいて一般診療及び救急事業を目的とし、併せて優秀な看護師の養成をするため明治 42 年に創立され、長きにわたり地域の中核病院としてその使命を果たしてきましたが、この度、平成 16 年 1 月をもって、地下 1 階・地上 14 階の規模で、最新の設備と高度の医療機器を備えた急性期医療を提供する病院として、新たな一步を踏み出すこととなりました。『わたくしたちは人道・博愛の赤十字精神に基づきすべての人の尊厳をまもり心のかよう高度の医療をめざします』これが、大阪赤十字病院の普遍的な基本理念

であり、我々はこの理念に基づいて、今まで培ってきた「信頼」という個性をさらに深め、「地域に密着し」、「常に患者さまに親切に」、「医療の質を高く保ち」、皆さまのご期待に沿えるよう、不断の努力を続けてまいります。

新生 大阪赤十字病院をよろしくお願いいたします。



『春本番』